

学校 教育 目 標	【学校教育目標】「共に学び、自他を大切にし、たくましい、心豊かな人を育てます」				
	○主体的に考え、対話をしながら将来にわたって意欲的に学び続ける人を育てます。(知) ○社会の形成者として、共によりよく生きる、自立心にあふれた心豊かな人を育てます。(徳) ○運動やスポーツに親しみ、心身ともに健やかでたくましい人を育てます。(体) ○横浜を愛し、協働しながら課題解決をはかり、広く社会に貢献する人を育てます。(公) ○多様性を尊重し、共生しながら持続可能な国際社会の実現に向けて行動する人を育てます。(開)				
学校 概 要	創立 70 周年	学校長 生出 宏	副校長 富樫 哲一	3 学期制	一般学級: 22 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 847 人		主な関係校: 大綱小学校・太尾小学校・大豆戸小学校・菊名小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<社会で活用できる知識・技能> <未知の状況に対応できる問題発見と解決能力> <多様性を尊重し、協働しながら持続可能な社会を創造する力>	大綱中学校 大綱小学校 太尾小学校 大豆戸小学校 菊名小学校	○主体的に学習に取り組む子ども ~学び合う~ ○あいさつができ、友だちや地域との関わりを大切に子ども ~関わり合う~ ○自分の良さを活かしながら夢や希望に向かってチャレンジする子ども ~未来を創る~ ・各教科で身に付ける力の共通理解を図る合同授業研究会を実施。 ・目指す子ども像について、視点を確認する合同研修会を実施。 ・定期的に中学校職員による小学校参観を実施。

中期 取 組 目 標	○指導力・授業力・組織力の向上により、魅力ある学校づくりを目指します。 ・対話による学び合いの姿勢を尊重し、協働しながら持続可能な社会を創造する力を育みます。 ・困難に立ち向かい、多様性を尊重し、思いやりのある姿勢を育み、いじめのない学校風土をつくります。 ・挨拶から始まるコミュニケーションを大切に、実生活や将来につながる生活態度を身に付けさせます。 ・教職員集団としての協働性を尊重し、日常の教育活動を推進します。 ・保護者や地域との連携を大切に、地域に貢献しようとする姿勢を育みます。
------------------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく知	①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、各教科で意図的に意見交換する時間を設定し、多面的・多角的な見方や考え方で、学びを人生や社会とつなげ、知恵をはたらかせて問題を解決する力を育む。②生徒による授業評価を分析し、教科横断的な視点からの授業改善につなげる。
担当 学習指導部	
豊かな心	①生徒会活動の「いじめ防止プロジェクト」の推進を継続し、生徒自身の当事者としての自覚を高め、いじめを許さない学校風土の確立に専心する。②体育祭や合唱コンクールなどの行事や道徳、日々の学習、部活動を通して、自己肯定感を育てるとともに相手の存在を大切にする心を育てる。
担当 特活指導部	
健やかな体	①健康の在り方についての学習を広める方法として、外部専門家→学校保健委員会→代表生徒→一般生徒という流れを継続する。②運動部の怪我やスポーツ障害に加えて、体育実技の授業における怪我の発生を予防するために新聞などの啓発活動を充実させる。
担当 保健指導部	
生徒指導	①年間3回設定されている教育相談週間を継続し、外部機関との連携をとりながら着実に課題の解決をはかっていく。②参加・役割・責任を持たせる様々な教育活動により、自分から学び、自分で自分を指導できるような自己学習力や自己指導力を育成していく。
担当 生活指導部	
特別支援教育	①多様性を理解するために、授業のユニバーサルデザイン化や合理的配慮を実施するための合意形成の在り方などについて教職員全体で正しく理解するための研修会を年3回以上実施する。②新たな課題に対して、スクールカウンセラーや関係諸機関との連携を見直し、強化する。
担当 特別支援委員会	
地域連携	①体育祭、合唱コンなどのPR活動、部活動発表会への招待、地域事業所と連携した教育活動、学校HP(大綱デイズ)による日々の教育活動の情報発信など、地域との双方向の協力体制を今後も深めていく。②保護者・地域との粘り強い連携により、いじめが起こらない風土づくりを目指す。
担当 渉外部	
キャリア教育	①地域の教育力を生かし、職業講話、職業調べ、職場体験学習を実施し、働くことの意義と責任について学ぶ。②平和学習、校外学習などを通して探究的な学習に取り組みせ、課題設定・問題解決能力や資質を育成し、自己の生き方を考えることが出来るようにする。
担当 学習指導部	
いじめへの対応	①「自他を大切にし」の学校教育目標のもと、誰もが安心して教育活動に参加し、自己肯定感を高め、いじめを許さない学校風土の確立に専心する。②校長をリーダーに、定期的な「いじめ防止対策委員会」を開催し、実態把握、分析を行い、速やかに関係機関と連携をとりながら解決をはかる。
担当 いじめ防止委員会	
人材育成・組織運営 (働き方改革)	①業務アシスタントを活用して改善を行い、子どもの指導に専念できる環境を整える。②一人ひとりの資質向上のため、授業力、生徒指導力など実践力養成に役立つ校内研修を実施する。③休養日の設定、外部指導者の登録、会計業務の負担軽減など持続可能な部活動の在り方を検討する。
担当 教務部	